



毎月2回10日・25日発行
発行所 秋田県秋田郡合川町役場
編集人 合川町役場総務課広報係
(発行部数 2,350)

高令者は百十八名

敬老式十七日に舉行

町では恒例の敬老式を来る十七日に行うことになり、民生課を中心に計画を進めている。昨年は合併第一年のことでもあり各地区ごとに行われ、適用年令もまちまちで、東地区は数え年七十七才、西、北地区は数え年七十才、南地区は満七十七才であったが、これを統一して満七十五才からとし式場も西中学校一個所にして高令者の送り迎えは役場吏員が誘導して貸切バスで行う予定となつてゐる。

また今年の高令者は百十八名となつてゐるが、各地区別の高令者氏名は次のとおり。

【東地区】
八〇才 佐藤三太郎(川井)成田サダ(下杉)
八三 村形与市(川井)
八二 畠山キヨ(道城)
八一 斎藤ハギ(下杉)工藤サト(上杉)佐藤イツ(川井)
八〇 吉田サダ(川井)工藤セン(上杉)
七九 佐藤トメ(川井)
七八 工藤スエ(上杉) 関堅治(川井)木村ミエ(下杉)
七七 米倉ヨシ(上杉)吉田和吉(川井)桜井和一郎(下杉)
七六 小林フン(道城)
七五 庄司キツ(道城)松橋タヨ(同)佐藤イツ(川井)工藤和三郎(合川) 佐藤トク

【西地区】
八七才 佐藤ツエ(川井)二階堂ミチ(上杉)桜井与助(下杉)森岡サト(道城)
八二 土濃塚サキ(芹沢)
八三 福田与七(鎌沢)松橋エラ(摩当)加藤ナヲ(鎌沢)
八二 土濃塚ノリ(芹沢)松橋儀三(三三)
八一 松橋与吉(三三)鈴木キワ(鎌沢)
八〇 藤岡ヨシ(羽立)浪岡元吉(新田目)
七九 木村吉助(李岱)村形市太郎(羽根山)成田テツ(李岱)
七八 成田マ子(李岱)成田テツ(同)梅田フミ(羽根山)金田チネ(羽根山)田中茂

【南地区】
八七才 福岡フリ(三三)
八六 加藤ハル(鎌沢)金森スエ(西根田)
八四 土濃塚サキ(芹沢)
八三 福田与七(鎌沢)松橋エラ(摩当)加藤ナヲ(鎌沢)
八二 土濃塚ノリ(芹沢)松橋儀三(三三)
八一 松橋与吉(三三)鈴木キワ(鎌沢)
八〇 藤岡ヨシ(羽立)浪岡元吉(新田目)
七九 木村吉助(李岱)村形市太郎(羽根山)成田テツ(李岱)
七八 成田マ子(李岱)成田テツ(同)梅田フミ(羽根山)金田チネ(羽根山)田中茂

【北地区】
八八才 小笠原仁助(木戸石)
八一 小笠原エシ(増沢)
八〇 畠山宇市(木戸石)高橋ツ子(八幡谷)小笠原ミ子(増沢)奈良ミツ(増沢)
七九 高橋吉太郎(八幡谷)藤島七子(増沢)奈良ミツ(増沢)
七八 杉淵勘助(木戸石)杉淵三

十月からは新教委

現委員は九月末まで

【説】

去る通常国会で議論の的となつた新しい教育委員会法即ち『地方教育行政の組織及び運営に関する法律』といふ長い名前の法律が六月三十日に公布され、その一部は即日施行され、大部は十月一日から施行されることになつた。

この法律は教育の政治的中立と教育行政の安定確保、地方公共団体における教育行政と一般行政の調和、国委員組織は五人とし、町村

が条例で定めれば三人でも組織することができるとなつており、現委員は九月末迄在任することになつてゐる。

委員長は新法により委員が選挙し、副委員長は制度はなくなった。

教育長は従来からの教育行政の長であるが、新法により九月末迄在任することとなつてゐる。

【兼任は出来ない】
委員は地方公共団体の議会の議員若しくは長、地方公共団体の執行機関として置かれる委員会の委員又は地方公共団体の常勤の職員

【任期は四年】
委員の任期は四年とし、補欠委員の任期は前任者の残り任期となつてゐる。

【教育長は委員の中から選ぶ】
教育長は新しい教育委員のうちから教育委員会が任命し、任期は四年、資格には「収支の命令」「予算の作成」などが町村長の権限と

【町村長の仕事】
従前は教育委員会の仕事であつた「教育財産の取得」「処分」「委員会所掌に係る事項の契約を結ぶこと」「収支の命令」「予算の作成」などが町村長の権限となつた。(杉淵)

芹沢橋は秋田土建へ

災害復旧工事入札終る

昨年六月の水害で被害を受けた芹沢橋をはじめとする当町南地区の災害復旧工事関係の入札は去る三日秋田市で行われたが、次の業者へそれぞれ落札し近く工事をとりかかるとなつた。

▽芹沢橋々脚工事
岩千重百万円
秋田土建株式会社(北林庄作氏)
▽沼田(芹沢)災害復旧工事
また近く三木田様下も入札が予定されている。

町に伴う財政再建計画の組替予算

(単位円) ②
(国保特別会計)
〔歳入の部〕
(カッコ内は増減、△印は減)

①国民健康保険税	5,957,000	(△1,417,955)
②財産収入	200	(0)
③手数料	7,000	(0)
④国庫支出金	6,354,000	(1,878,800)
⑤県支出金	1,000	(0)
⑥繰入金	2,000,100	(△ 100)
⑦繰越金	1,000	(0)
⑧雑収入	17,000	(△ 43,775)
⑨計	14,337,300	(416,990)
〔歳出の部〕		
①役場費	1,407,100	(△319,429)
②保険給付費	9,870,000	(1,560,960)
③保健施設費	270,400	(△ 20,090)
④財産費	150,100	(0)
⑤公債費	50,100	(30,000)
⑥諸支出金	2,504,138	(2,287,278)
⑦予備費	85,462	(191)
⑧計	14,337,300	(416,990)

区画整理審議委員決る
合川町前の都市計画に於て、仮換地の指定、換地計画の策定、減価償却金の交付等の事項を審議する委員会委員の選挙についてはさきに広報第十五号に報じたとおりであるが、委員の候補者は意外に少なく立候補締切日になつても定員(八名)に達せず結局次の各氏が無投票で委員に当選した。

△借地権者 高橋福治、工藤和三郎
△土地所有権者 後藤一俊、桜田治財門、村形駒之助、武石政治、村形駒之助
(以上届出順)

「社会福祉金庫資金」

をふやしましょう!!

篤志家の御寄附を...

〔いくらでも可〕
〔受付〕は 役場民生課内

社会福祉協議会へ!!

寄附者御芳名	金額	氏名
福祉金庫基金	一千元	木村 運吉
寄附者御芳名	一千元	高橋 欣二
(敬称略、順不同)	一千元	中村 医院
松橋 純造	一千元	合川木材株式会社
森岡 昌千代	一千元	株式会社上野
森岡 初音	一千元	製材所
小林 太郎	一千元	上野食堂
小林 貞雄	一千元	工藤東之助
小林 敬治	一千元	斎藤修助
永井 常治	一千元	アサヒ電気商会
関 喜兵衛	一千元	後藤 久三
工藤 イマ	一千元	米倉木材興
永井 耕三	一千元	業株式会社
米倉 甚一郎	一千元	ナサタクシー
工藤 為治	一千元	湖 楽亭
後藤 要助	一千元	平川 旅館
桜井 与之助	一千元	加藤 兵治
	一千元	吉田嘉左衛門川井

たばこは
合川町内で
買いましょう

△税金を何に使うかよく判らないから納めない。

△税金を何に使うかよく判らないから納めない。

なる。たとえば徴税が今までより強化さ

上という有利な面もある

うゲンナマが自由にな

は思い切つて縮小し、事業のために必要なもの

合川町公民館

--

にわか床屋や血圧測定

好評の移動民生相談所

各部落への移動役場開設などで好評を博している町では、去る八月から民生課、診療所が提携して「移動民生相談所」も開設、恵まれない末端部落民から非常に喜ばれている。そこで広報係は去る八月三十日北地区増沢部落で開設の同相談所巡回班に同行して見た。以下は、増沢「移動民生相談所」のその記である。(S)

この民生移動相談所といふのはどんなものかと木村民生課長に聞いてみると「民生課長に聞いてみると」といふ趣旨のものだそうだが、役場まで行つて見ると、民生に關することならば、木村課長を筆頭に課員三名、保健婦二名、医師一名、看護婦各一名の計八名からなつてゐる。「増沢へ出発するところ」



にわか床屋風景



血圧測定

だか……」との課長さんからの電話で役場まで行つて見ると、民生に關することならば、木村課長を筆頭に課員三名、保健婦二名、医師一名、看護婦各一名の計八名からなつてゐる。「増沢へ出発するところ」

早くも稲刈り

……福田の鈴木さん……

去年よりも二割増



〔田んぼで語る鈴木さん〕

うしてその鉄の使い振りな間は過ぎてゆくが、五、六うは全く素人ヘダシである「昔床屋でしたから……」人達が集つたところから一通り集つたところからスライドの映写をやる。子供向のものから日常生活に為なるものなどを写している中約四十名位の婦人達が集つて来た。

町民の聲

あなたと共に

住みよい、働きよい、合川町の建設、これがモットーです。

合川町も誕生して一年有半を経過した。過去のことについては、いろいろのいきさつもあるが、私共「合川町」と呼ばせ、書か希望をいだいてゐる現状で

「知らなかつた」「わからなかつた」で通るものか、うかを反省して欲しいものである。こうして欲しいものな方議員が地域住民の意を志というものを極度に近視眼的に感じて神経質になつてゐるからではなからうかと思ふとき、果して町全体

合併記念運動会

十三日西地区で

第二回合川町合併記念町内小中学校連合運動会は来

が八月三十一日というわけ栽培法は今さかんに農家にさわがれてゐる三早栽培法によつたものでは無いのに、この早期刈取りは驚異的だと経済課のK技術員は話してゐる。

修学旅行……町内四中学校のうち南、北の両校は今年それぞれ修学旅行を実施したが、残る西、東の二校は次の日程で修学旅行を実施する。

東中学校 九月七日、十一日出植は六月八日、初出穂は七月末、八月上旬で鎌入れ

東地区が初優勝 社会人野球大会 合川町体育協会が主催する合併後初の町内社会人野球大会が去る八月二十六日西中学校グラウンドで華々しく開催され、四チーム五十名の選手が参加して力一ぱの熱戦を展開した。

慶弔だより (自八、三一) 出生 (一六) 平川智保子、与五郎孫李信、斎藤悦子、新吉孫、新田目、安部栄作、作太郎三男、同、藤島いさ子、仁吉長女木戸石、小笠原幸雄、与之助孫増沢、藤田久美子、太市七女八幡信、福岡正信、作之助二男三三、三浦力男、喜蔵孫、三木田、土濃塚悦子、利助長女芹沢、桜田美也子、政治孫東根田、工藤弘子、秀一郎二女上杉、佐藤和昭、和男二男、川井、後藤博、多一郎孫、下杉、佐藤岩見、岩五郎孫、川井、関、功、定吉孫、上杉、木村家司久栄太郎長男梅栄

増産は良い種子から…… 経済課 今年も種籾を斡旋 米の増産に年々進歩するの採種圃は知事から指定を生産技術の修得によつて各受け果農業試験場から優秀農家とも毎年相当の好成績な原種を受け付けて栽培を挙げているが、増産の要として、町ではここから素の一つとして優秀な種籾を生産された種籾を各農家に選ぶことも忘れられないことである。

合併記念運動会 十三日西地区で 第二回合川町合併記念町内小中学校連合運動会は来

